

わたしたちでつくった小さな雨にわ

屋根

縦どい

雨水タンク

山の下の配管

雨水ます

透水性の飛び石

武蔵野の草花

土（厚さ 15cm）

玉砂利（厚さ 15cm）

土（厚さ 15cm）

砂利（厚さ 25cm）

下水道へ

【雨にわの雨水の流れ】

屋根に降った雨は、縦どい（雨どい）を通して雨水タンクに貯まります。雨水タンクがいっぱいになると、あふれた雨水は山の下に埋められた配管を通して山頂から湧き出します。湧き出した雨水は山を潤しながら流れ、玉砂利や透水性の飛び石を通過して、砂利のすき間にたくわえられ、さらにその下の土にゆっくりとしみこみます。雨にわは、全体をおよそ 40cm 掘り下げ、25cm の厚さで砂利を入れました。その上に土や玉砂利などを入れ、掘った土を盛り上げた山のエリア、玉砂利を敷き詰めたエリア、土に武蔵野の植物を植えたエリアに分かれています。ゲリラ豪雨や台風など、短時間に大雨が降って雨水がしみこみ切らない場合は、あふれた分が雨水ますに入り、下水道に流れ込みます。



武蔵野の草花が 雨にわで楽しめる

雨にわに植えられている植物は、原則的に武蔵野の土地に自生する野草です。何を植えるのか選定した上で、市民の皆さんが植物を持ち寄り、ワークショップを通してみんなで植えました。

小さな雨にわですが、場所によって環境は少しずつ違います。日当たりのよい場所、日陰になりやすい場所、ふだんは雨水頼りなもの、雨が降ると雨水タンクからの水が期待できる山の斜面など、さまざまです。

もちよった苗を、できるだけ植物の自生する環境に近い場所に植えるように気を配っています。

●植えた主な植物

アオイゴケ、オオバコ、スズメノカタビラ、ナズナ、コバンソウ、セリ、スマレ、ホトトギス、ウラシマソウ、フウロソウ、セキショウ、ギシギシ、タンポポ、タデ、ヤマアジサイ、ユキノシタ、ギボウシ、サンショウ、オオマツヨイグサ、シダ、アカカタバミ、ハラン、ホタルブクロ、ショウマ など

※植栽は少しずつ変化します。

あめ 雨にわとは

屋根や敷地に降った雨水を下水などに流さず、一時的に蓄えてゆっくりしみ込ませる構造を持った庭です。線状降水帯などによる集中豪雨の際に、道路やまちが浸水する危険を減らす取り組みとして、小さなスペースで始めることができます。



市民と自治体と一緒にになってつくった雨にわ

計画の段階から市民と自治体に参加し、一緒に雨にわをつくりあげました。製作プロセスを共有することにより、個人宅に雨にわを導入する際のモデルとなることを目指しました。また、ワークショップを通して、雨にわのファンを増やすプログラムも実施されました。

さまざまな効果や影響が期待される“小さな拠点”

小さな生物多様性の空間が誕生したことにより、この場所を立ち寄る人がグリーンインフラに対して関心を持つ拠点となることが期待されます。また、雨にわのワークショップに参加した人たちを中心に、グリーンインフラについての情報共有や、維持管理のノウハウの継承、人材の確保なども期待されます。

あめ 雨にわができるまで



ワークショップ形式で アイデアを出し合う

むさしのエコreゾートにて合計4回ワークショップを行いました。各自の好きな「水のある場所」を語り、そこからどんな雨にわをつくったらよいか、アイデアを出し合いました。



市役所の職員も一緒になって アイデアを言語化し発表

ワークショップでは、班ごとに分かれて自分たちのアイデアを言語化し、まとめたものを発表する付せんワークも行われました。ワークショップには武蔵野市役所の職員も参加しました。



雨にわ予定地の状況を 市役所職員と一緒に計測

武蔵野市役所の職員向けのワークショップでは、雨にわの予定地の土の硬さや雨の浸み込み度合いを計測しました。現地地盤の飽和透水係数は140mm/hr 前後でした。



ワークショップ参加者で 土を掘るなどの雨にわづくり

業者によって雨水ますや玉砂利部分の施工が行われたあと、ワークショップ参加者によって、雨にわづくりを行いました。土を掘り、砕石を入れ、その上に植栽用の土を入れました。

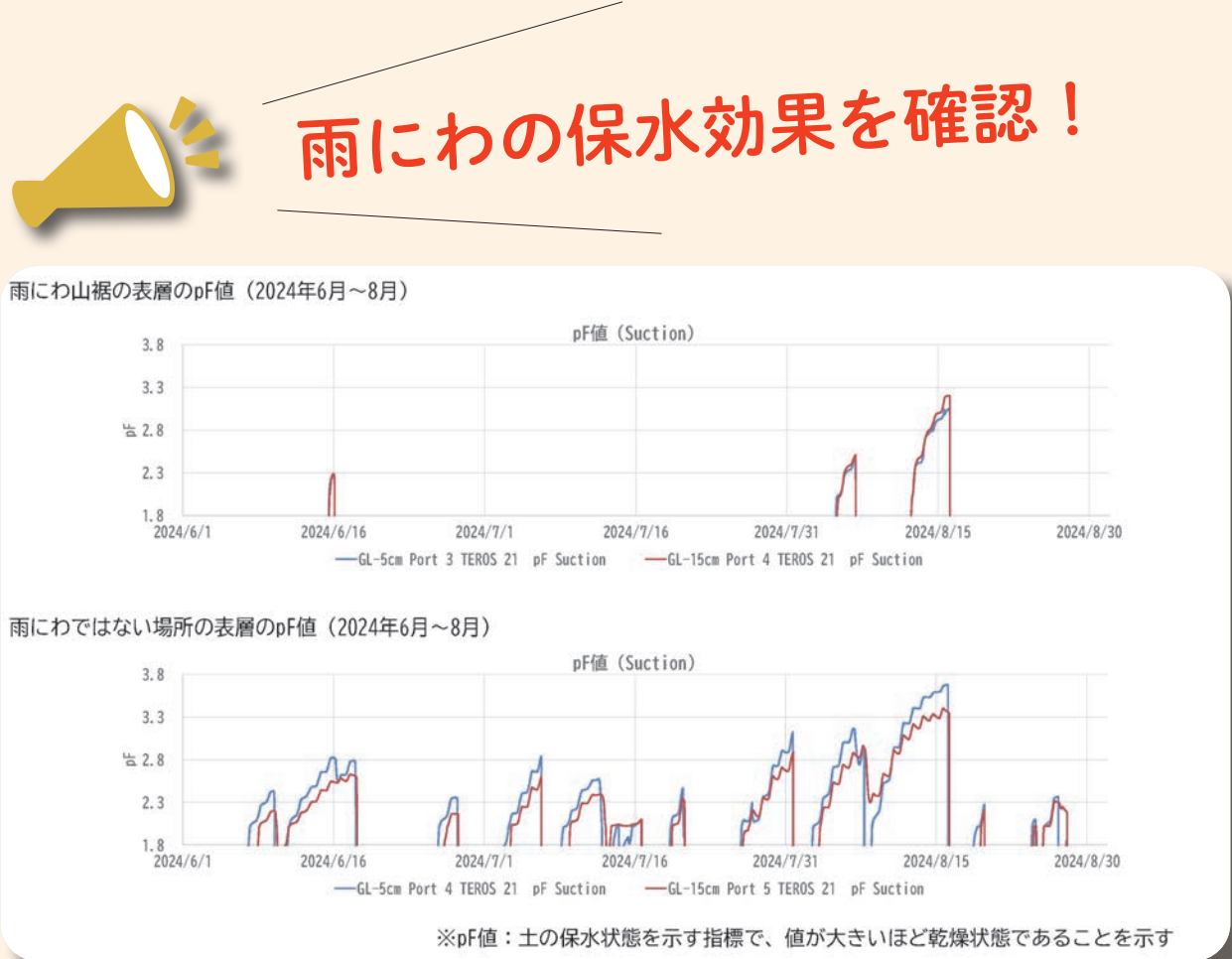


市民が持ち寄った植物を みんなで一緒に植えつけ

武蔵野に自生する植物を持ち寄り、ワークショップ参加者によって、植栽帯に植えつけを行いました。植物の特性にも考慮し、雨にわの中で適した場所を割り当て植えつけています。

あめ 雨にわのモニタリングについて

雨にわでは、雨を貯める雨水タンクへの雨水の流量だけでなく、土中の体積含水率や pF 値、温度の連続観測を行っています。これにより、雨にわの水位や、植物の生育や微気象の改善効果などの評価分析を行います。また、モニタリングによる定量的な分析を通じて、雨にわがもたらす効果や実態がより具体的に解明される予定です。



動画でわかる！ 雨にわができるまで

ワークショップを通して、雨にわができていく課程をギュッと5分にまとめました！

動画はこちら！

むさしのエコreゾートで
小さな雨にわをつくらう！
～雨にわNbSプロジェクト～

雨にわ NbS プロジェクト

雨をとどめてゆっくり流す「雨にわ」を広げ、雨がめぐるみどり豊かで安全なまちづくりをめざす取り組みです。東京郊外の武蔵野台地を中心に活動を進めています。

2024 年 6 月完成

実施 特定非営利活動法人 雨水まちづくりサポート

協力 武蔵野市環境部下水道課
武蔵野市環境部ごみ総合対策課
武蔵野市環境部環境政策課

助成 THE Coca-Cola FOUNDATION